

# ベトサダニュース

NPO法人 自立支援事業所ベトサダ

〒065-0012 札幌市東区北12条東10丁目2-3  
第5コーポ春1号室  
TEL : 011-374-7361 / FAX : 011-374-7381

HP<https://www.npobethesda.com>  
MAIL[office@npobethesda.com](mailto:office@npobethesda.com)



## 代表より

### 少し真面目な話

降雪地帯住民あるあるなのでしようけど今シーズンに関しては私も言いたい。ひどい、しんどい、もう雪見たくない！朝何時に家を出たらいいんだ！一丁目分進むのに二十分かかるとかどんだけ！例年の二倍以上の降雪、百センチの積雪も何十年ぶりと連日ニュースで耳にします。山やオフロードを走っているわけではないのにあまりにも除雪が追い付かなくて過ぎて私の車は毎日何度も「衝撃を感じました」とアナウンスが流れまくりです。轍がひどいとかのレベルではないので今年はより一層安全運転と心に余裕を持つことは重要ですね（愚痴こぼせて少しスッキリ）

さて話は変わりましたして今回は少し真面目な話をしようと思います。新聞で度々移り変わる社会の話をしておりますがより一層変化が起きています。正規雇用より非正規雇用で派遣会社を利用して寮に入るという流れはもう当たり前になっておりそこからさらに進化しているのがスマホを使った仕事、耳にしたことがあると思いますがタイミーやバイトルやら要は「隙間バイト」というものを利用しての者が多いです。専用アプリをダウンロードしそこから仕事を見つけて単発短期日雇いに応募しすぐに働けるという仕組みのものです。面接不要、担当者とのやり取りも不要、いつでもどんな仕事を募集しているのかを見て希望の仕事に応募し当日直接現場に行き働いてお金を得るという、使い方によってはとても便利な働き方です。

副業として使う分にはいいのですがメインに働いている者も少なくありません。身分証がないという状況でもできてしまうので日銭を稼いでその日にすべて使い切るという生活を送っている者が多く毎日仕事があれば何とか食いつなげるが仕事があれば飲み食いすらできないと役所に相談し当施設に来る者が増えています。非正規雇用で雇用期間の定めがあるがその契約期間は仕事と住まいはあるという状況です。本当にその日暮らしかできてしまうシステムがもう当たり前のようにあるのです。そうした環境に身を置いて生活している者は知らず知らず生活レベルの低下を気にしなくなり仕事があり金がもたらえて日々飲み食いできればそれで特に問題ないという思考になります。『生活水準が低いことはよいことではないが高くなる必要もない』と考えるようになる。今の現状に満足するようになるのです。そうした者は展望も持たないですし結婚願望もない、物欲も特になく、将来の夢希望もないという共通意識があります。持たないではなく持たないと自ら認識していると思ひ込んでいます。でなければ理想と現実の差に向き合わなければいけなくなるからです。自己責任という社会共通認識がまだ強く残っている中でそれでも選択の自由・多種多様な価値観も認められつつある中で何をどう見ても材料と何を判断するのか迷いやしやすい世の中もいえるでしょう。

いつまでも他人事として見ていられる時代ではなくなっています。生活困窮者への対応はその社会・自治体の成熟度を示すものにもなります。弱い立ち場の人をどう扱うのかは全体の倫理観の写し鏡です。自分がいづうなるかわかりません。排除する社会を選ぶのか無関心の社会を選ぶのかはまた包摂する社会を選ぶのか一人ひとりの考え方取り組み方が重要になります。もう個人の課題ではなく社会の課題なのです。行政に対しての訴えも行っていきますがまだまだ腰は重いです。

今回はちよつと固い話をしてみました。今シーズンは雪もすいので余計に生活が大変だろうと思います。私もそうです。皆さ。どうか心身共健康第一に考えてくださいね。

【菅原 勇也】



## スタッフより

### 2026年を迎えて

ベトサダ新聞をご覧の皆様、立春とは名ばかりの厳しい残寒が続きますがますますご静祥のこととお喜び申し上げます。

令和8年になりました。二月が終わりでしたが、一月下旬から降った雪に大概うんざりしていることと思います。私は除雪をする度に空を見上げて一難去ってまた一難と思いました。

でも、この雪のおかげかと申しましょうか。今後の月までの期間で予定されている北海道の冬の催事は順調のようですね。例年であれば雪不足で大変との声が聞こえてくるような事もあったようでしたが、今年も北海道の冬の魅力と良さを存分に満喫できそうです。

さて話題を変えまして、一般国民に関係する事では真冬の総選挙という事で衆議院選挙が行われます。※原稿執筆時点は2月4日政権をどこの政党が担うかの選挙であります。どの党も立候補した方々があまり代り映えない事を見れば後になってあの時の選挙で何か大きく変わったという事も体感出来ないのかなとも思っています。

次に事業所を取り巻くお話になりますが、近年は、ホームレス数が減少の一途だと言われております。一年間で見ると数字としては増えてはいませんが、事業所においては実際には令和7年12月のシェルター利用者数は一挙に増えました。これは土地柄も季節柄も非常に関係している事として、冬に住む家が無く困っているにも関わらず外で過ごすなんて事は特殊なスキルを持っていないければ不可能ですから、正直に事業所を頼ってくれて命を守った結果だと思っています。その人達が年末年始に凍えず暖かい空気がある部屋で過ごせた事は非常に良かったと思う反面そういつた場面を見るたび、「人としての普通の暮らしとは何か」という事を改めて考えさせられています。

令和7年度も4/4期に入り2か月後には新年度を迎えます。新年の計は元旦にありと言われますが、来年度は個人的にも事業所的にもそして事業所を頼って来る方々にも何か一つでも幸せを感じられる年度になればと願っております。

終わりになりますが、いつも事業所に「理解」ご協力を賜っている皆様、くれぐれもお身体に気をつけてこの冬を乗り切れるよう願っています。次の私の投稿は新年度になります。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

【二瓶】

ベトサダニュースをご覧の皆様、年も明け二月となりましたがお変わりなくお過ごしでしょうか。あつという間に一月が過ぎ去り大雪により除雪に四苦八苦していると思われませんが雪の捨て場も無く大変困惑している状況ではないでしょうか。雪山も高く道路も狭く車は渋滞し歩道も無い状態で私自身も車でも中道から出る際は恐怖を感じます。お出かけの際は事故などに遭われる事の無いよう十分にお気をつけてお出かけください。

年明け早々衆議院解散、二月初旬に選挙となった訳であります。自民党圧勝と言う結果に終わりました。食品類に限り二年間消費税減税などの公約を掲げている訳であります。秋口あたりには物価は値上がりし結局のところ家計は圧迫され年々生活は苦しいのは高齢者の方や低所得層にはあまり効果は感じられないのでは無いかと察してはいますが皆様はどうお考えでしょうか。年明け早々に暗い話はおき、雪まつりも無事に開催され賑わいを見せては行かれました。がやはりこの時期には付き物のインフルエンザが流行っています。皆様も感染予防などされておられるかとは思いますが充分お気をつけ下さい。

話題は変わりましたがベトサダでの支援活動の話に移ります。昨年度から利用者数は増加傾向にあり相談内容的には家賃滞納により住居契約解除による住居喪失、実家で暮らしていましたが親との関係性が悪くなり家を追い出された生活の場を喪失、特定の住居を持たず非正規雇用での寮付きの工場などで働いていましたが退職し、しばらくはネットカフェなどで過ごしていましたが次の仕事が決まらず所持金も無くなり困り果てての相談などが大半を占めている状況であります。収入面に関しては北海道の最低賃金も一昔前よりは改善され非正規雇用者が正社員での雇用より時給換算では引けを取らない人も居ますがやはり不安定な雇用形態であるために長く続けられず行き先が不透明な雇用生活困窮者が増加する要因ではと考えています。次の原稿を執筆する時期には新年度を迎える事となりますが、これからは何ら変わらず支援活動を行なって行きたいと思っております。最後までありがとうございましたが当施設の支援活動に賛同され御協力いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。

【吉田】



